

部局名	安全環境部	所属名	クリーン推進課	所属長名	林 昭雄	電 話	483-1151 内線：3220
-----	-------	-----	---------	------	------	-----	------------------

1. 事務事業の位置付け・概要（P L A N）

コード	3888		事務事業名称	クリーン基金積立金					短縮コード	経常		臨時	3888
予算区分	会計	01	一般会計	款	12	諸支出金	項	01	基金費	目	09	クリーン基金費	
区 分	☒ 自治事務 ☐ 法定受託事務 ☐ その他			根拠法令等		クリーン基金条例 〈その他施策体系〉 0303020103再資源化の推進 0303020301処理施設の適正管理 0303020302最終処分地の整備 0303020303焼却施設の整備 0303020304粗大ごみ処理施設の整備							
事業概要（事務事業を開始したきっかけを含めて記入）													
平成14年度創設。廃棄物処理を取り巻く状況はダイキン類対策など環境保全に主眼をおいた対策が求められている。一方廃棄物処理施設は、建設、改修など一時的に莫大な財政負担が生じる。また、これらの施設は耐用年数があり、一定期間毎に施設整備が必要となるため。それ以外にも最近は、ごみ排出量の抑制及びリサイクルの推進が大きな課題であり、これに対する取り組みも求められており、これらハード・ソフト両面にわたる推進のため。													
事務事業を取り巻く状況の変化 又、今後の変化の推測				総合計画の施策体系	5本の柱（章）	03	安全・環境共生都市をめざして						
市の財政状況が厳しく、計画的な積立ができない。					大項目（節）	03	環境・衛生						
					中 項 目	02	ごみ処理						
					小項目（施策）	01	ごみの減量化・リサイクルの推進						
						02	環境に配慮した適正なごみ処理の推進						
					細 項 目	02	ごみの減量の推進						
02	焼却施設等の整備												
				実施計画の計画事業									
計画事業の位置付けの有無			☐	計画事業期間		～		計画事業費		千円			

2. 事務事業の目的・指標・実績（D O）

対象 （誰を何を対象にしているのか）	市民							
手段 （具体的な事務事業のやり方、手順、詳細）	※平成17年度に実際に行ったこと： 利子を積み立てた。							
	※平成18年度に計画していること： 3, 000万円を積み立てる予定							
意図 （何を狙っているのか）	一般廃棄物の排出抑制、リサイクルの促進及び一般廃棄物処理施設の整備を図る。							
結果 （どんな結果に結びつけるのか）	適正処理がされる。							
区 分				単位	16年度	17年度		18年度
					実績	計画	実績	計画
対象指標	指標1	一般廃棄物処理に要する経費	千円	3,662,115	3,970,016		3,483,334	
	指標2							
	指標3							
活動指標	指標1	基金積立金	千円	20,015	130,000		180,000	
	指標2							
	指標3							
成果指標	指標1	基金利子	円	4,747	7,000		7,000	
	指標2							
	指標3							
上位成果指標	指標1							
	指標2							
	指標3							

コード		3888	事務事業名称	クリーン基金積立金			所属名	クリーン推進課
			単位	１６年度	１７年度		１８年度	
				実績	計画	実績	計画	
事業費 (A)	財源内訳	国	千円	0	0	0	0	
		県	千円	0	0	0	0	
		地方債	千円	0	0	0	0	
		一般財源	千円	0	0	0	1	
		その他	千円	5	7	5	6	
	主な事業費の内訳			利子を積立	30,000千円を基金に積立予定。利子を積立。	利子を積立	積立金7千円	
	人件費(B)			千円	955.1	950.9	1,823.3	
トータルコスト(A)+(B)			千円		960.1	957.9	1,828.3	
							1,830.3	

3. 事務事業の評価（SEE）

評価 類型	評価事項		評価区分		理 由				
目的 妥当性	①事業目的が上位の施策に結びついているか？		☒ 結び付いている		上位の施策「ごみの減量化・リサイクルの推進」「環境に配慮した適正なごみ処理の推進」を推進するために、クリーン基金積立金を実施しており結びついている。				
			☐ 結び付くが見直しの余地がある						
			☐ 結びつきが弱い・ない						
			☐ 評価対象外事項						
	②すでに所期目的を達成しているか？ ※「達成している」を選んだ場合、⑥に進んでください。		☐ 達成している		「ごみの減量化・リサイクルの推進」「環境に配慮した適正なごみ処理の推進」を推進するために、クリーン基金積立金は今後とも必要であるし、計画した積み立てが達成されていない。				
			☒ 達成していない						
			☐ 評価対象外事項						
	③民営化で目的を達成できるか？ ※民営化・・・事務事業の全部又は一部の実施主体を全面的に民間事業者等に移行すること。 （民間委託は、権限に属する事務事業等を委託することで、民営化とは異なる。）		☐ 可能性はある		一般廃棄物の業務は、市の事務として行うものである。				
			☒ 可能性はない						
			☐ 評価対象外事項						
④「対象」・「意図」の設定は現状のままで良いか？		☒ 現状のままでよい		現状の「対象」・「意図」で、結果に結び付く。					
		☐ 見直す必要がある							
		☐ 評価対象外事項							
有効性・ 効率性	⑤今後、有効性や効率性を向上させる可能性はあるか？ 可能性がある場合は、⑤－２、３を記入する。 可能性がない場合は、理由を記入する。		☐ 有効性向上の可能性はある		今後とも、計画的な積立を行っていく。				
			☐ 効率性向上の可能性はある						
			☐ 両方可能性はある						
			☒ 可能性がない						
	⑤－２ 有効性や効率性を向上させる手段は何か？ 該当する手段を選択し、具体的な方法と得られる効果を記入する。手段が「類似事業との統合・役割見直し」である場合は、該当する類似事業を記入する。	☐ 民間委託等							
		☐ 臨時的任用職員等の活用							
		☐ ＩＴ化等業務プロセスの見直し							
		☐ 受益者負担の見直し							
		☐ 類似事業との統合・役割見直し		類似 事務 事業 名称	1		実施主体 (所管部署)		
		☐ 上記以外の方法				2		実施主体 (所管部署)	
		⑤－３ 推進にあたっての課題はあるか？（一時的な経費増・市民の理解等）		☐ ある					
	☐ ない								

コード	3888	事務事業名称	クリーン基金積立金				所属名	クリーン推進課
今後の方向性	⑥この事務事業の今後の方向性を選択し、その詳細について右欄に記入する。	☐ 改革・改善して継続			計画的な積立が困難な状態なので積立金の財源を確保する必要がある。			
		☐ 手法プロセスの改革・改善						
		☐ 事業規模の拡大・縮小						
		☐ 統合・役割見直し						
	☐ その他							
☐ 廃止								
☐ 休止								
☒ 現状のまま継続								
	⑦この事務事業の今後の経費・成果の方向性について選択し、右欄に理由を記載する。			経 費			計画的な積立をすることが望ましい	
				削 減	不 変	増 加		
		成 果	向 上	☐	☐	☐		
			不 変	☐	☒	☐		
			低 下	☐	☐	☐		

この事務事業に対する市民や議会の意見（担当者が把握している意見） ※内部サービス業務の場合は、住民ではなく、サービス利用者、関連部門の意見や実態など	
有料指定ごみ袋制度などによる手数料収入を基金に積立ることが望ましい。	

所属長コメント	ごみ処理施設等の整備・改修等を行ううえで積立金の財源を確保し事業の継続を行う必要がある。		
評価調整委員会意見	☐ 改革改善して継続		現状のまま継続。
	☐ 手法プロセスの改革・改善		
	☐ 事業規模の拡大・縮小		
	☐ 統合・役割見直し		
	☐ その他		
☐ 廃止			
☐ 休止			
☒ 現状のまま継続			